

令和4年度 教育・保育施設評価アンケート結果について

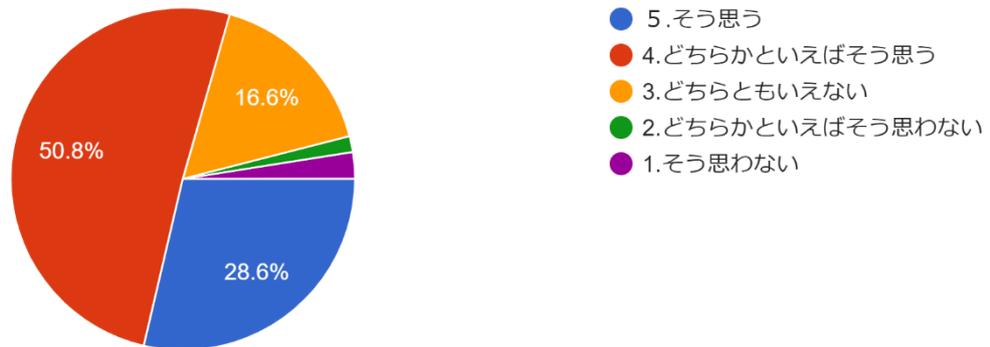
平素より本園の教育保育にご理解賜り、感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様にご回答いただきました令和4年度 教育・保育施設評価アンケート結果をまとめましたのでお伝えさせていただきます。なお、自由記述項目は要約させていただき、別紙にてご案内させていただきます。

【回答数】 199（神戸鹿の子幼稚園 183、神戸鹿の子KITA 若干名、神戸鹿の子道場南口園若干名）

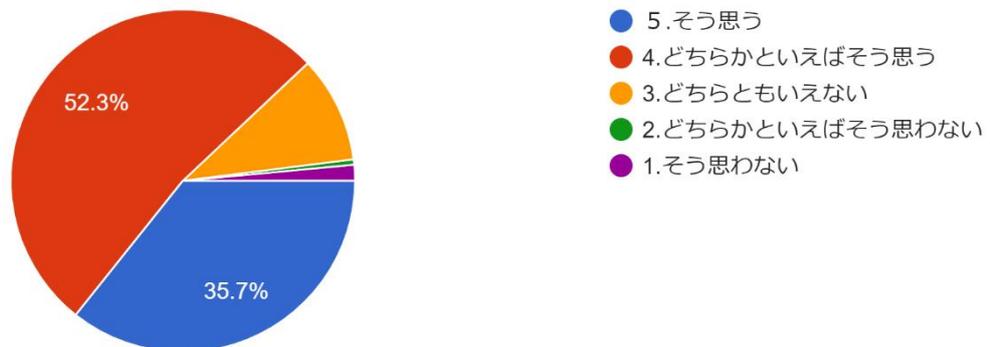
1. 園の教育・保育理念が周知されている。

199 件の回答



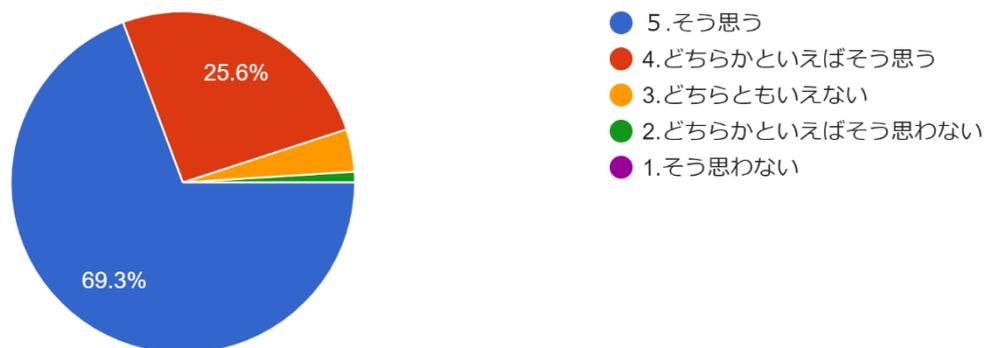
2. 園の教育・保育理念に基づいた保育がなされている。

199 件の回答



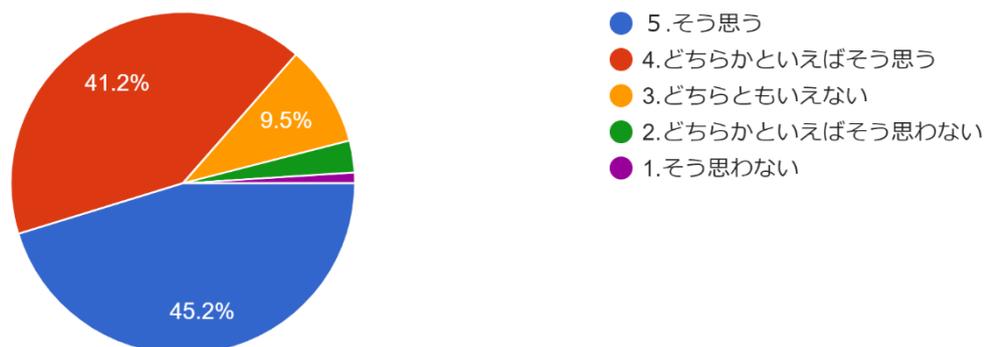
3. こどもは安心して園での生活を過ごし、楽しんで通っている。

199 件の回答



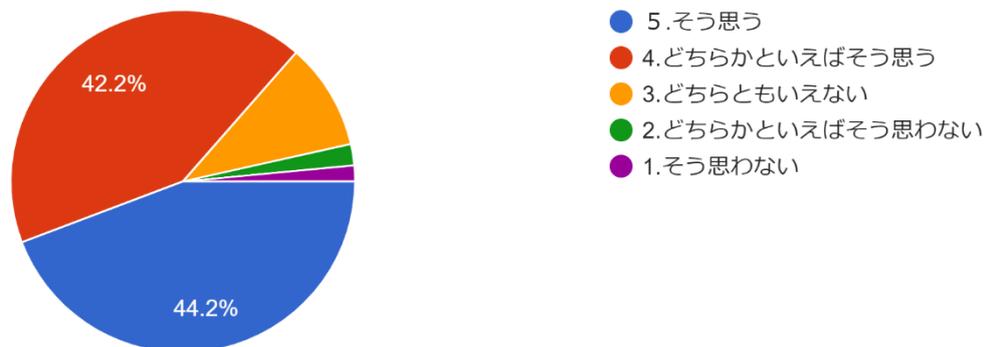
4. こどもの主体的な活動が保障されている。

199 件の回答



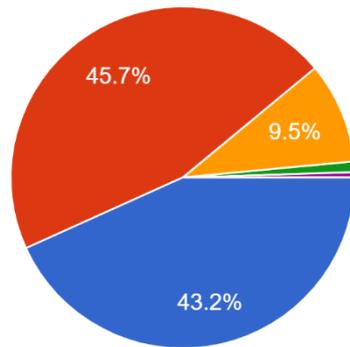
5. 園はこどもたちの多様性を受容し、尊重している。

199 件の回答



6. 園生活（活動）において、こどもたち（自分）なりに納得し、理解を示している。

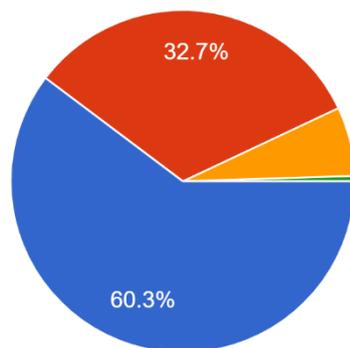
199 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

7. こどもたちの園での経験が、ご家庭で活かされた場面がある。

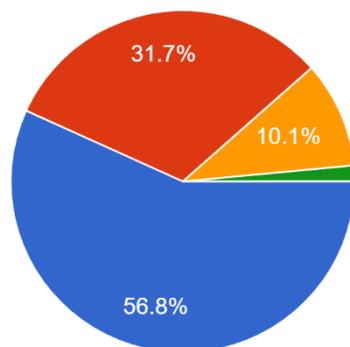
199 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

8. 保育者はすすんで挨拶を心がけ、こどもに温かい言葉遣いで接している。

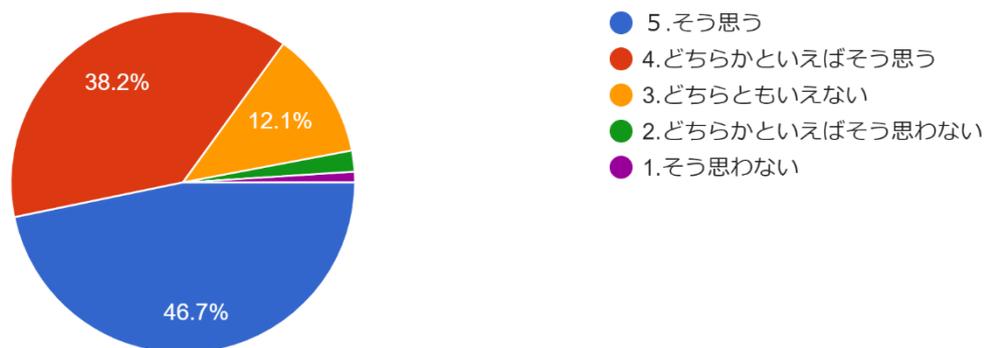
199 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

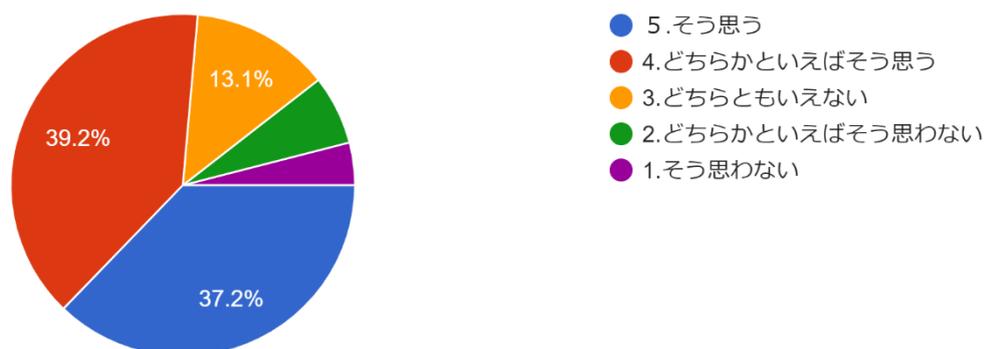
9. 一人ひとりの子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助をしようと努めている

199 件の回答



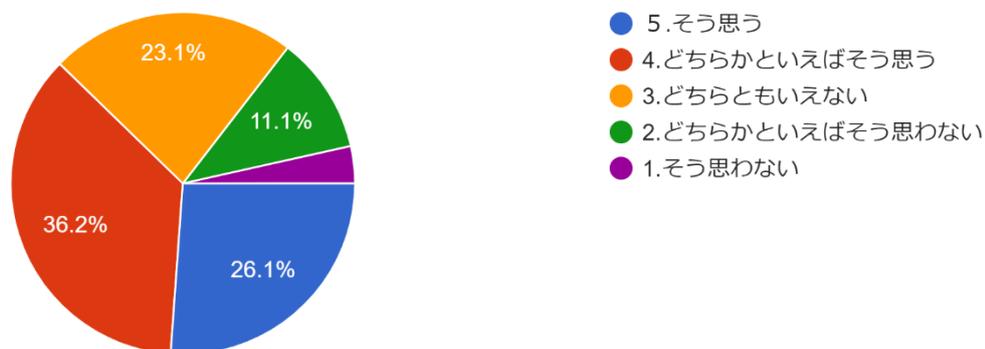
10. 預かり保育や園庭開放など子育て支援に積極的に取り組んでいる。

199 件の回答



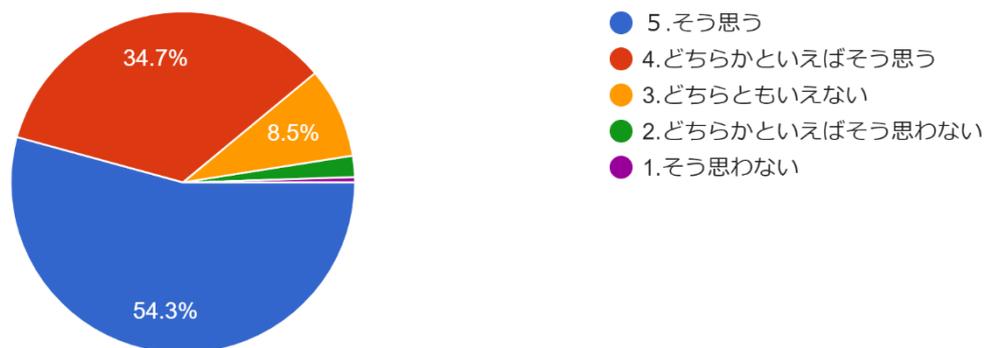
11. 保護者の意見や相談等が話しやすい体制がとられている。

199 件の回答



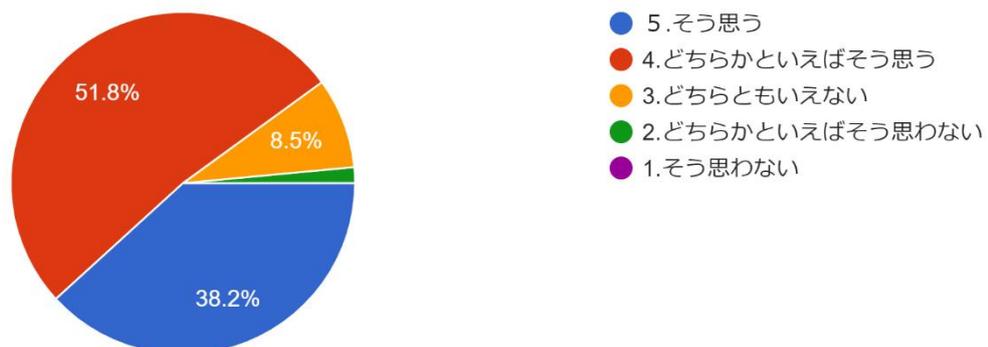
1 2. こどもが園内で気持ちよく生活できるように清潔にし、環境整備に努めている。

199 件の回答



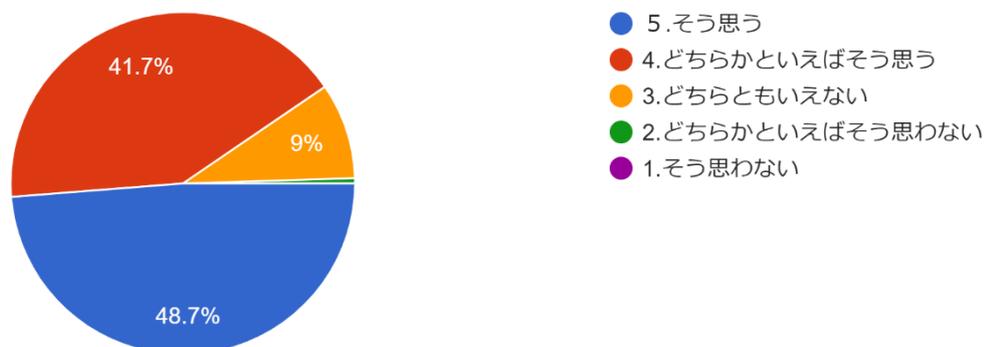
1 3. 施設内の設備・遊具が充実している。

199 件の回答



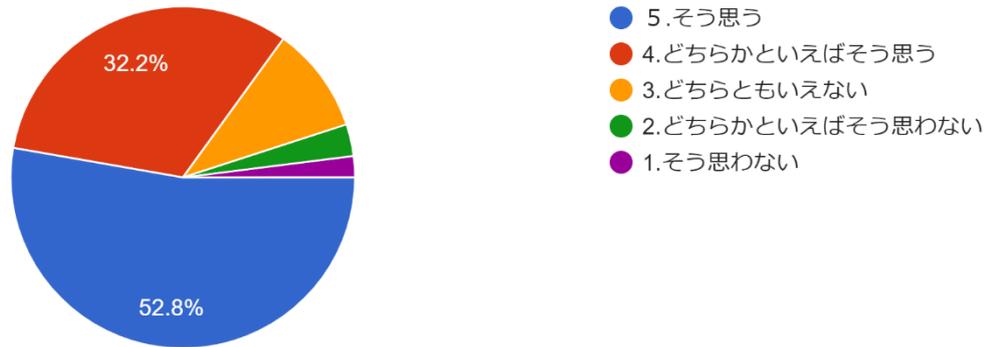
1 4. 施設内の設備・遊具が安全に使えるように整備されている。

199 件の回答



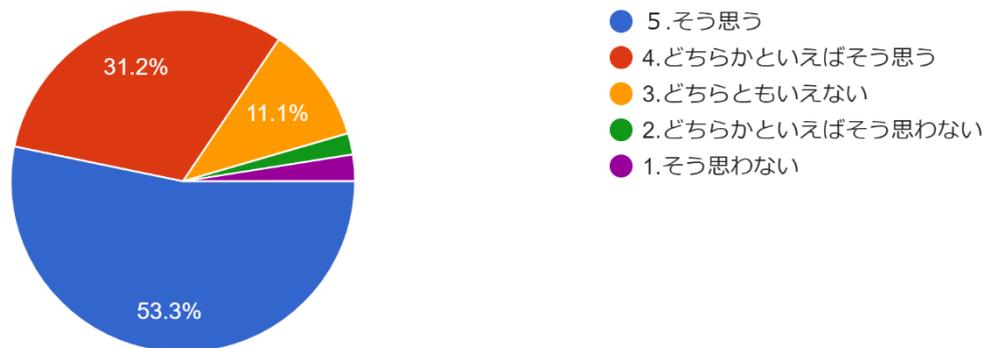
15. こどもの健やかな成長を考えた栄養バランスのとれた給食を提供している。

199 件の回答



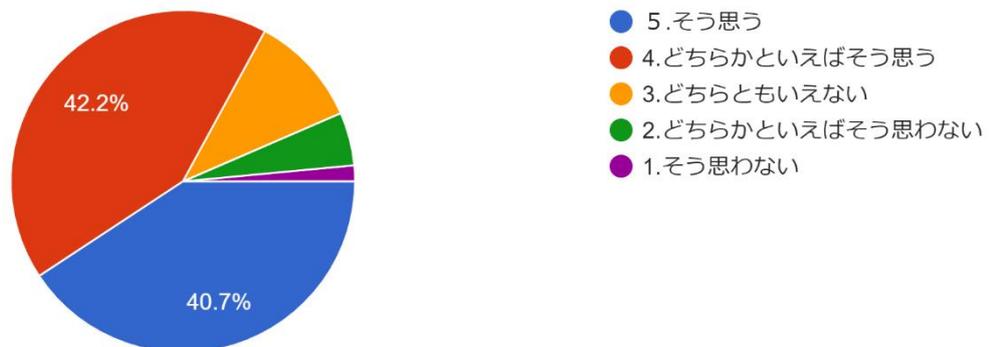
16. こどもたちは、総合的に考えると給食に満足している。

199 件の回答



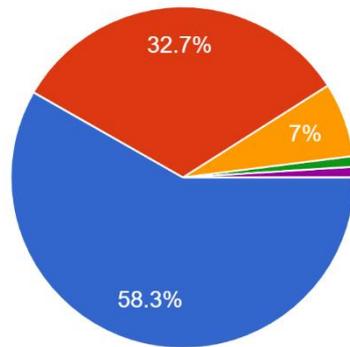
17. 園は感染症対策に努め、拡大予防に努めている。

199 件の回答



18. 感染症情報が保護者に適切に発信されている。

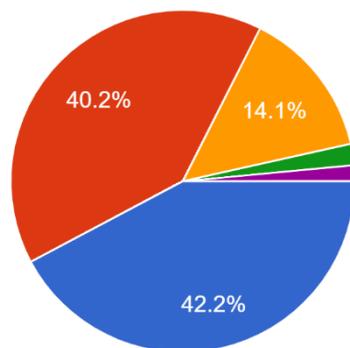
199 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

19. 園内でのトラブル・ケガなどが適切に処置・対応されている。

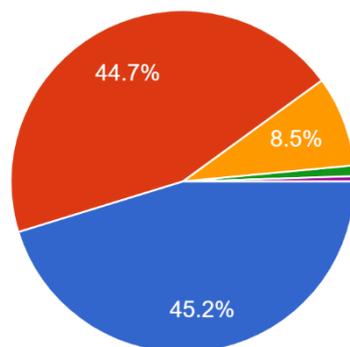
199 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

20. 安全・防犯管理に努め、また危機管理意識向上に努めている。

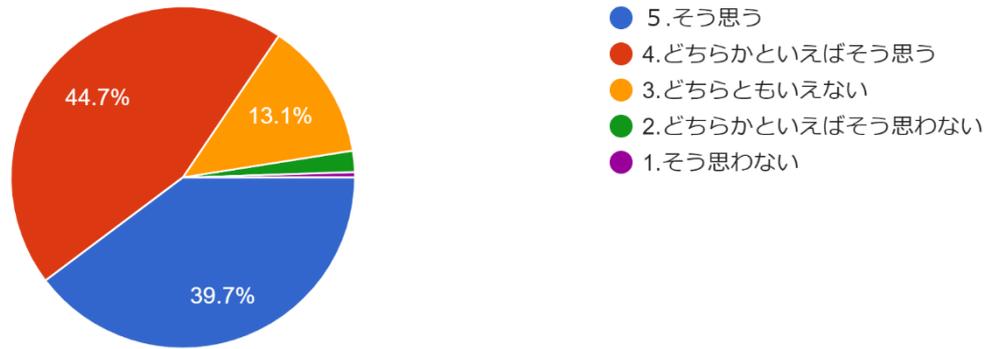
199 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

2 1. 災害発生時における園での対応が保護者と共有できている。

199 件の回答



【自由記述内容まとめ】

この度はアンケートにご協力くださり、また温かいお言葉や労いのお言葉をたくさん頂戴し、ありがとうございました。今回は、皆様から幅広くご意見を集めるため、匿名回答で実施させていただきました。なお、自由記述の回答内容は要約させていただいておりますので、予めご了承ください。

まず初めに、乳幼児教育・保育の「主体性」について改めてご説明させていただきます。

似た言葉として「自主性」や「自由」がありますが、混同しやすいため、本園での教育活動における用途を整理させていただきます。

- ①「主体性」・・・自分で考え、自分で行動する
- ②「自主性」・・・ある程度決められている中で、自ら率先して行う。
- ③「自由」・・・他からの束縛を受けずに、自分の思うままにふるまう。

①「主体性」と②「自主性」どちらも大切な資質・能力ですが、お子様の発達の時期によってその割合が変わり、幼稚園では「主体性」、小学校では「自主性」を育む活動が重点となります。

また、「主体性」と一番混合されてしてしまう言葉に③「自由」という表現があります。

「子どもがやりたいことを全て実現できる」が「自由」となりますが、子どもたちが「やってみたい！」と言ったからといって、服をはさみで切ったり、石を部屋に投げたりする行動を子どもたちの「主体的な取り組み」と捉えて見守ることは勿論いたしません。

園には、「教育」と「養護」の両面があり、「安心・安全」を前提としたうえでの「子供の主体的な活動」を担保していくこととなります。

しかしながら、どこまでを「安全・安心」と捉えるかは、園によって考え方の違いがあるかと思えます。

本園の場合ですと、0～5歳のお子様が発動する中で、持ち物や服装などについて、紛失・破損によるケガ・トラブル、そして事故防止の観点からルールを定めております。

しかしながら、時代の変化とともに改善できるルールもあるかと思えますので、お気づきの点がございましたら直接お尋ねいただけますと有難く存じます。

小学校と幼稚園の違いについて、もう1点重要なキーワードとして「認知能力」「非認知能力」があります。

「認知能力」・・・読み書き計算など、IQ等で表現される力

「非認知能力」・・・自分を大切にし、自分を高めようとする力、周りの人とうまくやっていく力、自分の感情をうまくコントロールする力等

(東京大学 cedep 「非認知能力の育ちを支える幼児教育」より)

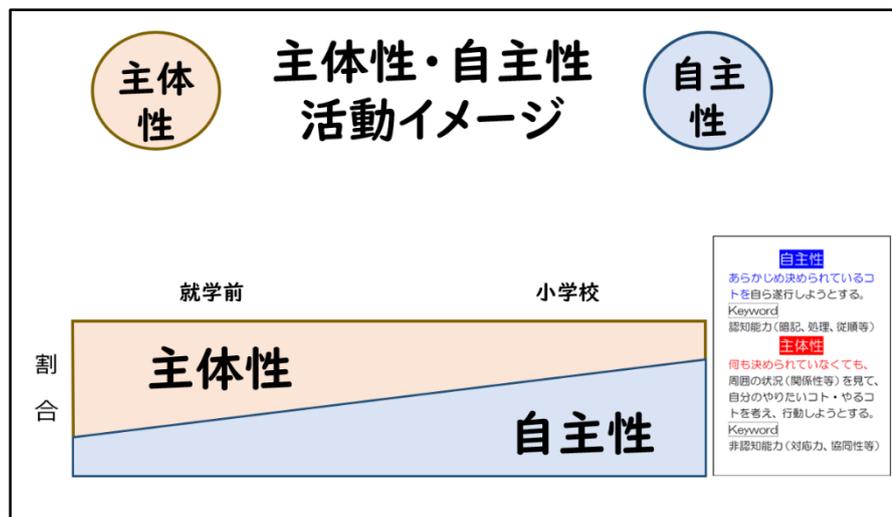
この「認知能力」と「非認知能力」は、「ペリー就学前プロジェクト」より以下のように捉えられています。

- ・幼児期に「認知能力 (IQ)」を高める活動をして、4年後には「認知能力 (IQ)」の差は見られなくなる。
- ・大人になってから差がでてくるのは、幼児期に培われた「非認知能力」である。

以上のことから、幼児期では主体性に通じる「非認知能力」を育み、自主性に通じる「認知能力」を小学校以降で育むことが子どもの学びの流れとして適切であると考えられます。

なお、活動内容は幼稚園では「あそび」が、小学校では「教科教育」となります。

平成 29 年度改訂の認定こども園教育保育要領から、上記「子どもの主体性」、「非認知能力」の育みを重視することとなり、本園でも令和 2 年度より順次、カリキュラムの再構築を実施（例えばワークブックやテキスト等を使用した一斉受動的な活動の見直し等）することとなりました。



Q.22 ドキュメンテーション機能について

ドキュメンテーション機能に関するご意見では以下のようなご意見をいただきました。

- ・様子が見れて嬉しい。自然な表情を見ることができる。
- ・頑張っていて取り組んでいるところや楽しんでいる様子が見れて安心した。
- ・子供とも具体的に話せるようになり共通の話題が増えた。
- ・データの保存がしたい。
- ・パソコンで入力したコメントがスマホでも見られるようになるとありがたい。

データの保存につきましては、肖像権や個人情報の観点から、ダウンロードを制限させて頂いておりますが、個人用に使用するなどの限られた範囲で、且つ自己責任での利用を前提として、今後検討させていただきます。パソコンで入力したコメントをスマートフォンでも閲覧できる仕様については、(株)スマートエディケーションへ意見としてご報告させていただきました。

その他、ドキュメンテーションの投稿について以下のようなご意見もありました。

- ・たくさん載せてほしい。もう少し頻繁に利用して発信してほしい。
- ・普段の園生活の様子がもっと見たい。
- ・色々な活動を計画しながら撮影・編集する先生の仕事を考えると、かなり大変ではないのか。

昨年の秋頃、神戸鹿の子幼稚園の3～5歳児の職員から、ドキュメンテーション作成がスタートしました。職員は、子ども達の気づきや学びの姿をお家の方と共有したい思いを持っているものの、限られた勤務時間の中、クラスの活動準備に要する時間もまちまちであり、ドキュメンテーション作成に係る時間の捻出が課題となっております。

現在は、月に一回ほどのクラスも配信できるよう職員は取り組んでおります。

職員が配信数に焦りを感じることは、「ドキュメンテーションを配信すること自体」が目的となってしまう、本来の配信の意義から逸れてしまうことも懸念されます。

以上のことから、お家の方がご期待されるお気持ちをご理解させていただきながらも、配信頻度の違いがあることにつきまして、何卒ご賢察頂けましたら幸いです。

Q.23 かのこチャレンジフェスタについて

かのこチャレンジフェスタに関しては、以下のようなご意見をいただきました。

- ・クラス（学年）単位で行うと見やすかった。こどもの頑張っている姿をゆっくりと見ることができた。
- ・他学年同時開催にすれば、プログラムを切り替えた園の考えを理解してもらえたのではないかと。

総じてみますと、学年単位開催の方が、子どもたちの様子が見やすかった、というご意見を多く頂戴したようにお見かけいたしました。

クラス単位、学年単位、全学年合同、学びの場として、それぞれの長所があるかと思えますので、本園といたしましては、今後も子ども達が取り組もうとしている「活動の目的」から、開催規模を考えさせていただこうと思えます。

プログラム内容に関してのご意見としましては、

- ・練習からみんなで作戦をたてているなど楽しそうに話してくれ、子どもが主体になって頑張っているのがよくわかった。
- ・運動会との違いがわかりづらい。あまり変わっていないように感じた。
- ・目を輝かせながら競技に取り組む姿に子どもの成長を感じた。
- ・ある程度練習などを通して協力して成功させる経験などは積ませたい。
- ・親子競技が楽しかった。もう少し協力できる競技だと嬉しい。どのように参加するかが事前にわかると嬉しい。
- ・もう少し楽しい雰囲気にしてほしい。
- ・見えにくい競技があった。

本件に関しまして、本園のプログラムに関する説明がまだまだ十分ではなかったことをお詫びいたします。

現在のプログラムに移行した理由は、子ども達が次世代に必要な資質・能力の基礎を培うための時間を確保することにあります。

従来の運動会の種目の中から主体性を考える方法もありますが、（この方法を選択する園が最近増えられているかと思えます。）運動会のイメージから離れると、選択肢がさらに広がり、より子どもたちの興味関心に沿った活動内容になるかと思えます。

重要なのは、各プログラムは「子どもたちの普段のあそびの延長線である」ということです。

本園として重きに置きたい取り組みは、「練習」＜「試行錯誤」であり、職員が主導して練習を進める形よりも、子ども達が「よりよくしたい（しよう）」とする気持ち、姿や意欲を大切にしていきたいと考えております。ですので、「かのこチャレンジフェスタ」や「かのこ Show&Tell」は、「活動の発表会」というよりも、普段の取り組みをお家の方に見ていただくという点で、「保育参加」や「保育参観」のイメージとして捉えて頂けましたら幸いです。

取り組み内容によっては、かのこチャレンジフェスタでは小学校の校庭を利用しない可能性も考えられます。

今後も、子どもの姿から、環境設定や活動・あそび内容が変容していく過程で、その中から子ども達が挑戦してみたい体と頭を動かす活動を抽出していきたいと思えます。

Q.24 かのこ Show&Tell について

かのこ Show&Tell に関するご意見では、ご意見では以下のようなご意見をいただきました。

- ・子どもの頑張っている姿が見られて、とても良かった。楽しみながら取り組んでいた。
- ・毎日自分の役割を話してくれた。
- ・音楽会とお遊戯会を分けて実施してもらいたい。音楽会がなくなったのが残念。
- ・クラスでやりたいことを話し合っている点が良いと感じた。
- ・クラスによって差がある、内容に偏りがあったように思う。
- ・時間が短く感じた。
- ・Tell=何かを伝えるの部分が足りないように感じた。
- ・名前が変わり、何の行事かわかりにくい。
- ・型にはめられない、子供たちそれぞれのかたちをみることができた。
- ・子供たちの個性や得意がよく見れて嬉しかった。
- ・子供たちがやりたいこと、興味がある事を頑張って練習して楽しんでいるんだと感じた。
- ・席によっては子どもの姿が見えにくかった、見られなかった。
- ・イベントが減っても、子供たちが好きなことを出来る時間が増えることは良いことだと思う。
- ・DVD 販売があれば嬉しい。

子ども達が見せたいものを紹介するプログラム「かのこ Show&Tell」では、各クラスの興味関心から展開された活動をお家の方にもご覧いただく場とさせていただきました。

当初、実施場所は3階ホールの舞台という場所に指定していなかったのですが、「お家の方に来ていただく」、「天候に左右されない場所」を考慮した結果、今年は全クラス3階ホールを利用することになりました。

従来の行事から現在のプログラムへ移行した経緯は前述したとおりですが、「表現(音楽)」の観点でいいますと、子どもたちは日々の園生活の中では、先生やお友達と一緒に歌を歌ったり、楽器と関わったりしています。

「かのこ Show&Tell」の場で、何を選ぶのかはクラスそれぞれであり、クラスの興味関心の先がどこに向くかによって職員は舵取りすることになりますが、子ども達がより身近に(遊びの延長線上に)楽器と関わり合えるエリアを設けることなどを検討しています。

引き続き、保護者の皆様におかれましても、子ども達が「何を通じて」「何を表現したいのか」に着目していただけますと幸いです。

Q.25 かのこエキスポについて

かのこエキスポに関しては以下のようなご意見をいただきました。

- ・子どもたちが頑張って作ったものを見ることができ、掲示物から日々の様子がよくわかりました。
- ・入園してから1年間、これまでの生活や成長を、先生方が工夫を凝らして作ってくださった模造紙でじっくりと見ることができ、子どもの成長を改めて実感することが出来た。
- ・子供も自分が写っている写真をみて喜んでいました。

0歳~2歳児クラス対象で開催した「かのこエキスポ」ですが、1年間の活動をドキュメンテーションや製作物を展示しながら、園で見出された子どもたちの「育ち」や「学び」を、お家の方と子どもたちと先生と共有する時間を設けさせていただきました。

今回のプログラムを通じて、活動と活動の繋がりや、子どもたちの遊びの発展をお家の方と一緒に感じていただ

けたのではないかと思います。

引き続き、子ども達の成長について掘り下げたお話ができるよう検討していきたいと思っています。

Q.26 自由記述

自由記述では、本園職員に向けた感謝のお言葉や励ましのお言葉をたくさん頂戴し、ありがとうございました。

- ・毎日家ではできないことを企画してくれてるのが伝わってきます。
- ・子供も毎日楽しく通っているので満足です
- ・子供の主体性を重点とした教育になって子供たちが話し合っ一つのことに取り組んでいるのがとても印象的です。
- ・楽しんで行っている姿からは自分たちで行っている感が実体験となっているように思う。
- ・鹿の子幼稚園に入って良かったです。

令和4年度は、子どもたちの興味関心から派生した活動にたくさんの時間をかけられるようになったため、園外保育の考え方にも幅が出てきました。

従来から活動内容によっては公園に行くことがあったり、手紙をポストに投函しに行ったりと、活動によって子ども達が園から出ることもありました。

ただ、本園として大切にしたいことは「何をするのか」ではなく、「なぜその活動を行うのか」、そこには「どのような気づき学びがあるのか」、を考えております。

もちろん、子ども達から発せられた意見だけを活動内容とするのではなく、園として（又は保育者としての）働きかけも行います。（「環境設定」または本園では「種まき活動」と呼んでいます。）

しかし、先生の働きかけが強すぎると、子供達は先生に誘導されることになってしまいます。

勿論、過程がなく、実際に体験したことにより、子ども達から興味関心が生まれてくることもあります。

園外保育に関しては、学年一律の方が良いのではないかと？というご意見をいただいたところも、その思いからご回答いただいたのではないかと思います。

園外活動について、本園の考え方をお示いたしますと、

- ①「園の種まき活動」としての園外活動なのか、
- ②「クラスの興味関心から派生した」園外活動なのか

ということであり、現在の「遠足」が①に当たるかと思っています。つまり、

- ①「遠足」は学年合同（園の種まき活動）
- ②「園外保育」はクラス別（子どもたちの関心から繋がった活動）

もし、②の園外保育が合同となってくると、従来の一斉保育のスタイルに戻ることにになりますので留意が必要です。ただし、園内でも各クラス充実した活動が繰り広げられている点、際限なく園外には出ることができない点などを考慮いたしますと、園外に出る場合は一定の枠組みや、理由が必要であると考えております。

園外保育では、「何をするのか」ではなく、「なぜその活動を行うのか」、そこには「どのような気づき学びがあるのか」を、お家の方と共通認識として持たせていただけますと幸甚に存じます。

その他、様々なご意見もいただきましたので、領域に分けてご回答させていただきます。

【防犯】

- ・保育室にカメラにあることにより、先生が子供たちに接しにくくならないかが心配
- ・降園時、バス駐車場側の門が閉まっていないことが多くなったと感じる。
見知らぬ保護者証の無い方がいると少し不安になった。
- ・QRコードがスムーズに開けられない。
- ・公園で遊ぶ際の、防犯や置き去り防止についてどのように取り組んでいるのか知りたい（KITA）
- ・玄関ドアをオートロックにしたほうがよいのではないか（南口園）

⇒各保育室のカメラですが、当初、主体的な保育をすすめるうえで各クラスを越えた活動も増えてきたため、状況の共有化を目的としたことから設置をいたしました。

昨年秋頃より全国的に不適切な保育に係る事件が取り上げられ、現在は職員とお子様安心して園生活を過ごすことのできる設備にもなっております。

その他セキュリティー強化については、随時検討させていただきます。

お手間になる点もあるかとは存じますが、保護者証の携帯や、扉の締め忘れなどがないように何卒ご協力をお願い申し上げます。

【ジェンダー】

- ・スモックの色が男の子と女の子で色が違うのが気になる。
- ・家庭で男の子だから女の子だからということがよくあり園で男女の区別し過ぎてるのではと疑問に思う。

⇒スモックの色は、令和5年度新入の方から水色に統一させていただくことになりました。

ジェンダーについては、昨今職員間でも関心の高いテーマとなっております。

今後も子ども達との関わりの中でもより意識をしていきたいと考えております。

【書類】

- ・行事予定が本園と分園で合同記載されているため分かりづらい。

⇒記載方法など、内容が分かりやすくなるよう検討させていただきます。

【登園日】

- ・保護者が休む必要がある日は分かりにくく日数も多い
- ・4月のクラス懇談会等をまとめてもらえるとありがたい
- ・家庭保育協力日年間予定としてお知らせをいただきたい

⇒家庭保育協力日は、保育の行事の準備、職員のお休み等を確保させていただくことを目的としております。

もちろん家庭保育協力日は強制ではありませんので、お仕事の都合がつかない場合はお預かりすることは可能です。

園の運営上、皆様にご協力をお願いすることもあるかと思いますが、次年度以降、可能な限り、保護者の方のご負担にならない方法検討いたします。

【DVD】

- ・DVD のケースは以前のシンプルな形の方がいいと思う

⇒ビデオ撮影を委託している株式会社ビデオソニックに問い合わせましたところ、当該ケースが株式会社ビデオソニックの通常仕様となっているため、大変申し訳ございませんが、現状変更ができないとのことでした。ご了承いただけますと幸いです。

【保育内容】

- ・子供たちを主体的に保育が行われているおかげかこの一年幼稚園に行きたくないということがほぼなくなりました。
- ・主体的な保育が毎日のワクワクに繋がっているのではないかと思う。
- ・年長のくもんがなくなってることを知らなかった。
- ・保育時間にテレビを見せることは「保育」なのか気になる。
- ・主体性を育てる取り組みについて説明が不足しているように感じた。
- ・創作にあまり自由さがなく感じる。
- ・園外活動などクラスによって差があるように感じる。

⇒本学園として保育内容の前述したとおりです。

テレビに関しましては、教育標準時間内（10：00～14:00のコアタイム）以降の過ごし方として、長時間の保育の中でのゆったりとした時間、特にケガの発生が多い時間帯（夕方ごろ）に体を休める時間としてとらせていただいております。

【連絡手段】

- ・毎日見えない子どもの様子などを担任の先生と共有できたら嬉しい。
- ・アプリを通じて保護者から気軽に連絡できるようになればありがたい。

⇒引き続き、園での様子共有方法および連絡方法について検討させていただきます。

【委員】

- ・委員や掃除当番をなくしてほしい。

⇒お忙しい中、園運営にご協力くださり感謝申し上げます。

園との接点をもつ機会が少なくなっている中、今まで委員の皆様にご依頼させていた「行事のお手伝い」といった活動内容から、「保育参加」といった共主体としての活動内容に移行させていただきます。

また、皆様からご意見をいただけたらと思います。

掃除当番につきましては、毎年保護者の皆様のご協力を賜り感謝申し上げます。

当番という形でなく、ボランティアの形で募る案もございますが、ボランティアの方が集まらない可能性も考慮いたしますと、大変恐縮ではございますが継続してお願いする可能性もございます。

【諸費用】

- ・保育料にかかる費用が高い。食費などの内訳の説明が足りない。
- ・幼稚園の指定のものが多く、値段が高いように思う

⇒食育活動費は、給食は委託している内田フーズとの契約（給食代、人件費）に基づきます。

内訳の詳細な説明にはならないかもしれませんが、ご参考として副食費免除の場合、1号主食費 1,000 円、2号主食費 2,000 円として頂戴しております。多くの園では無償化制度が開始された際に国が提示した（主食費 3,000 円）にならうところが多いように思いますが、本園では内田フーズとの契約内容から算出しております。その他の諸費用金額は、各園の規模、各園のルールによって異なる部分があるかと存じます。現状の本学園を運営するうえで、諸費用金額を設定させていただいておりますので、何卒ご了承くださいませようようお願い申し上げます。

【職員対応】

- ・子供が挨拶しても園長先生が挨拶をしてない時があった。
- ・コロナ禍で園長だけ室内でもマスクをしていないことが多かったように思う。
- ・正門のように、下駄箱前や扉付近に先生がいてくれるとありがたい。
- ・先生によって決まりが違うので子供が戸惑うこともある。
- ・職員室が入りにくい雰囲気
- ・預かり保育を利用しているので担任と話す機会がほとんどない
- ・連絡帳に書いていること以外も教えてもらえたら嬉しい
- ・連日保育園から帰宅するとあせもができていたので夏は汗をかいていたら着替えさせて欲しい
- ・女子の髪飾りや鞆のキーホルダー一つの制限は必要なのか
- ・8時半から登園開始なのに7時に警報発令で休園になるのか

⇒園長の対応について至らない点がありましたことをお詫び申し上げます。

職員のルール共有ができていないとのこと、申し訳ございません。具体的な内容をお知らせいただけますと有難く存じます。引き続き園の決まりについては職員間で共有できるよう努めさせていただきます。

担任と話す機会については、ご希望の方は、保育時間後に時間を設けてお話しさせていただきますので園までお申し出ください。

就労等でお迎えの時間が夕方以降になられる方で、お子様の園生活について、何かお困りごとやご不安な点などございましたら、お電話などでも対応させていただきますので、ご相談いただけたらと思います。

夏の体温調節対応につきましては、年少児以上は外遊びの際、自分で汗をハンカチやタオルで拭く等、体温管理や清潔に過ごす習慣がつくよう声掛けなどをして対応しています。0~2歳児の場合、暑い日に外遊びをした際、沐浴をさせていただいております。

汗をかきやすいお子様は職員と情報共有させていただきますので、差し支えなければ職員までご連絡ください。髪飾りはケガの要因となるのでゴムの使用をお願いさせていただいており、鞆のキーホルダーは、自分の名前が読めない間の補助的な役割と考えております。その他、紛失、破損、トラブルやケガ防止のため、きまりを設定させていただいております。

警報発令時の判断ですが、7時半から早朝預かり保育が開始し、始発の通園バスは8時には園を出発いたしますので、そこまでに職員への通知、園での対応をする必要がありますので7時での判断とさせていただきます。

【引き渡し訓練】

- ・引き渡し訓練当日、預かり利用した子どもまた保護者へは何の伝達事項もなく、一体何の訓練がされたのかわからないまま終わった。
- ・引き渡し訓練についてのお知らせが直近すぎる。

⇒今回が初めての引き渡し訓練の実施となり、至らない点がありましたこととお詫び申し上げます。

ご指摘いただいた点を含め、万が一の災害時に備え、スムーズにお子様を引き渡しできるよう努めさせていただきます。

【写真】

- ・遠足の写真の枚数がクラスにばらつきがあった。

⇒この度はご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

本件につきまして、撮影委託先の山田写真館に伝えさせていただきます。

【ホームページ】

- ・ホームページの活動今日の更新がしばらく続いていないので続けてもらいたい。

⇒園内活動の発信はドキュメンテーション機能に移行したところもありますので、対外的な発信方法については検討させていただきます。

【バス】

- ・バス降車時、保護者がいることをしっかり確認した上で子どもの降車、引渡しをしていただきたい。
- ・欠席名簿などを見ている子供がいるので、子供達から見えないようにした方がよい。

⇒職員と情報共有し、対応させていただきます。

【給食】

- ・給食のデザートがパインの缶詰が非常に多く感じる。

⇒内田フーズと情報共有させていただきます。

【制服】

- ・男の子の長ズボンがペラペラなので改善があれば嬉しい
- ・外靴や上靴がブラシで洗うとすぐボロボロになるので改善してほしい

⇒制服業者と情報共有させていただきます。

【最後に】

今は VUCA（ブーカ）の時代だ、と言われることがあります。

V・・・(Volatility 変動性)

U・・・(Uncertainty 不確実性)

C・・・(Complexity 複雑性)

A・・・(Ambiguity 曖昧性) 4 単語の頭文字。

変化が激しく複雑性があり、想定外のことが発生し予測が困難である状態です。

この「わかりづらさ」「抽象的」なものに向かっていく力が「主体的・対話的・深い学び」なのだと思います。

子ども達は、そのような「予測の難しい社会を生きる力(主体的・対話的・深い学び)」が求められていますので、その力を育もうとする私たち大人も曖昧なものに対応するスキルが求められています。

そして、もう一つのキーワードが多様性です。

子どもたちは、将来今以上に多様な価値観が混在する社会に身を置くことになります。

まだ多くの園では、他のクラスがやっていることは、自分のクラスもやるもの（やらなければならない）という意識文化があるかと思いますが、多様性の受容や尊重が必要な次世代社会を見据えますと、現行の重視している保育観を、クラスの「差」ではなく「違い」という認識をもつようにしたいと考えております。(十人十色)

鹿の子学園として志す保育は、子ども達の興味関心から派生された活動から、気づき・学びを経て成長していく保育（＝「主体的・対話的・深い学び」）です。

今の子供たちの姿から、どのような活動がより良い気づきや学びに繋がっていくのか、園と子供たちとお家の方と共に探求（究）していくことを、引き続き重点に置かせていただきたいと思います。

その探究心こそが、子ども達が主体的に関心をもって取り組むことにつながり、社会全体にも伝わっていくものだと考えております。

今回全てのご意見に対して明確な回答が出来ていない部分もあるかと思いますが、皆様から頂戴いたしましたご意見は、すべて拝読させていただきました。

本園として至らない点があるかと存じますが、皆様のご意見を拝聴しながら子どもたちのよりよい育ちに繋がる環境を提供していきたいと思っておりますので、今後とも学校法人鹿の子学園の教育・保育にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。